

商工会報

# あち

第20号

発行 阿智村商工会  
43-2241  
編集 会報編集委員会  
印刷 龍共印刷(株)



福富 達氏

## 日本経済は湾岸戦争にも屈しない

新春時局講演会

本年度新春講演会は、時局講演にふさわしく湾岸戦争勃発の翌日1月18日に行われました。会場も湾岸戦争や、世界の動きを知ろうと多勢の聴講者でいっぱいになりました。

平成三年、新春講演会は、日本テレビの福富達先生から「今日の時局問題と生活の関わり」と題して、お話をしていただきました。丁度前日の一月十七日に湾岸戦争が勃発、生々しいお話を解り易く伺うことができ、感銘深い講演会となりました。

イラク軍がイスラエルへミサイルを八発打ち込んだニュースを、車中で聞いたという先生は、早速イラクと多国籍軍の戦争、イラクとイスラエルの宿命の対立等について先ず説明をされました。続いて世界に於ける日本経済について、幾度かのオイルショックや、円高ショックを乗り越えてきた日本経済の機敏性は素晴らしく、湾岸戦争も短期で終われば、日本経済に大きな影



講師の福富達先生

響はないだろう。日米貿易摩擦については、米国の政治家達の不勉強で、他国籍企業の売上げまで含めると、その額は殆ど同額である。(一九八四年) 農産物の自由化についても、全く米国の都合によるもので、残留農薬は日本の農産物の千倍と言われ、子孫の生命にも関わる重大問題である。

日本経済の将来は、先端技術、バイオテクノロジー関係の伸長は目ざましく、日本のGNPは二十一世紀の初に世界一になるだろう。

国内政治では、下水道の普及率は先進国の中では最も低く、日米構造協議の中で今後十年間に欧米並みにする様約束させられている。

この他、ロッキード事件で散々に叩かれながら又リクルート事件が発生、国民の嫌がる消費税を殆ど審議もせず押しつけ、農家泣かせの農産物の自由化を実施する等、国政の貧困さは全く嘆かわしい。

最後に、湾岸戦争が一日遅ければ、この講演会に出席できなかつた。これも「アララの神」の思召である。と独特のユーモアで講演会を締めくくりました。

### 会館の補修

#### 始まる

昨年五月の総会で、会館維持資金の用途について質問があり、会長から所々補修しなくてはならない場所ができたので、そうした事に使う旨答弁がありました。

十二月の理事会で、雨樋の腐敗、トイレの脱臭等補修の委員会を組織して、検討することが決まりました。

その後、会報を設計された鈴木建築設計事務所にも加わっていただき、四回の委員会、二回の理事会の議を経て、トイレの脱臭工事、畳換え、雨樋の取り換え、二階の一部クロス張り替え等も、見積入札により、業者決定を致しました。又昨年夏から問題提起がされておりました冷房施設も、併せてやることになり、新年度の総会迄には総て完了する予定です。

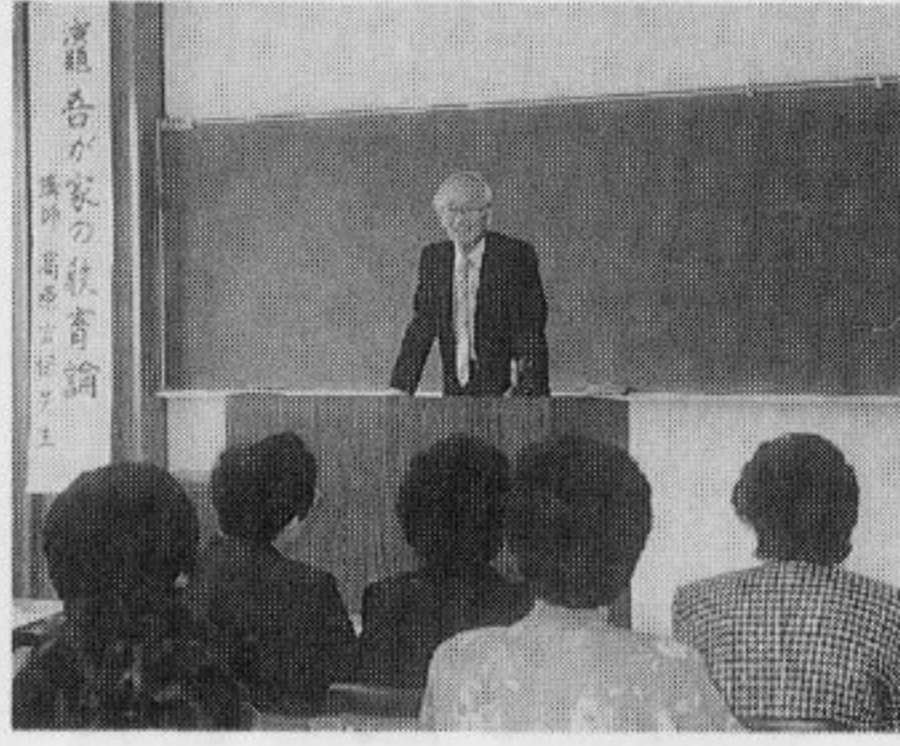
工費は総額二百三十万円程になり、総て会館の維持基金特別会計から支出することになりました。

### 婦人部だより

(下条村との合同研修会)

一月二十四日 阿智村商工会館において、下条村・阿智村両商工会婦人部の合同研修会を行いました。

初めに、講師に高原富保先生をお願いして、「我が家の教育論」と題してお話をお聞きしました。



講師の高原富保先生

高原先生は、毎日新聞社勤務の後、現在は飯田市山本に高原文庫を開き、地域の発展に貢献されています。経済評論家で元経済企画庁長官の須美子夫人との間に、娘さんがひとりいらっしゃいます。

躰は学校・勉強は塾任せの現状に対し、勉強は学校に任せる。躰は家庭で厳しくが高原家の方針だそうです。又、大学に入ってからは、ひとりの社会人として扱い、一切の行動に干渉しない。その代わり、意志独立を認められた以

上、経済的にも自立するのが当然で、大学の費用は、親が娘に貸付、就職してから返済することになっているそうです。今の親子は、お互いに親離れ、子離れができないとのことでした。

又、各部屋に、国語、漢和、英和の三冊の辞書を置き、常に引く習慣をつけるというお話も、大変参考になりました。会場を昼神温泉の清風苑に移してからの交流会では、婦人部活動の具体的な取り組みについて、両婦人部長からそれぞれ発表があり、それについて活発な意見交換が行われました。

研修会終了後の新年会を兼ねた懇親会では、踊りやカラオケ等用意され、最後には全員で昼神温泉音頭を踊るなど、帰りのバスの時間も忘れ、楽しいひとときを過ごしました。

#### (阿智祭バザー参加)

婦人部では、昨年十一月に開催された阿智祭で、「おやき」を製造、販売しました。

おかげ様に、予定した三百個全部売り切れました。当日は早朝から、又中身の野菜を無償提供していただくなど御協力いただきました。

### お客様の心理を敏感にキャッチ

接客講習会

昼神温泉も、温泉湧出以来十七年目を迎へ、いよいよ誘客も五十万人を超えるようになりしました。

また、下伊那地方にも、あち・ちちらと温泉湧出があり、今後、競争も激化して来るといでしょう。

そこで、商工会では、旅館業と飲食業の従業員さんを対象にした接客講習会を、去る二月十三日(火)に、昼神観光センターで開催いたしました。

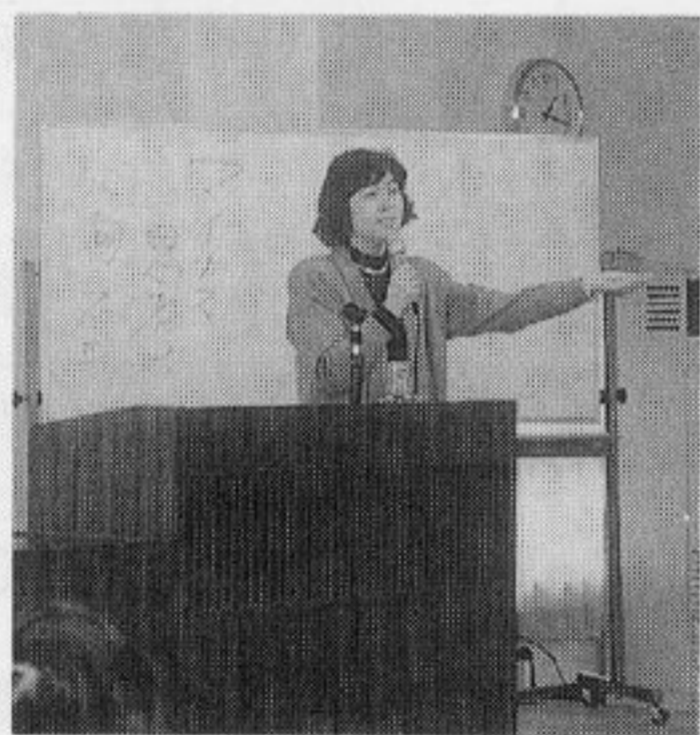
講師には、元日本航空スチュワーデスの土田孝子先生をお招きして、「お客様によるこぼれる真の接客サービス」と題してお話をいただきました。

先生は、「つくば科学万博」において、コンパニオンの育成や教育にあたり、各地の温泉地における、旅館指導講師としても活躍されており、講習の中での立ち居振る舞いや

笑顔は、聴講者にも人気がありました。

話の内容は、お客様の心理は十人十色さまざま、「歓迎されたい心理」「独占されたい心理」「主体性に欠ける心理」「損をしたくない心理」「優越感の心理」「自己本位の心理」等、心の動きを敏感にキャッチした接客が、お客様の印象を良くし、それが企業経営に結びつくということで、早速、今から心掛けるよう指導がありました。

当日は、百三十人もの聴講者が会場を埋め尽し、先生の実技指導も交えて、有意義な講習でした。



笑顔がステキな土田先生

### ぜひあげます。

「商工会報あち」も、昭和五十九年九月に創刊されてから、今回で第二十号になりました。創刊号から第十九号まで、わすかですが残部があります。御希望の方にお分けますので、事務局までおこし下さい。

### 信金だより

「飯田しんきんビジネスクラブ」のご案内  
しんきんでは、お客様のご商売に関するさまざまなニーズにお応えするため「飯田しんきんビジネスクラブ」を設立いたしました。

☆ビジネスクラブのサービスは

- 一、何か新しい商売に取り組みたい。こんな商品の仕入先が知りたい。人材確保について良い方法はないかなど、企業経営やご商売に関することから、どんなご相談にもお応えします。
- 二、各種交流会、商談会、講演会を開催いたします。
- 三、全国六万社を超える会員ネットワークにより、取引先をご紹介します。
- 四、経営情報誌を毎月お届けします。

☆会費は  
月額四千元(消費税別)です。

ただ今、会員を募集中です。ご商売の発展のためにぜひ、ご入会いただき、当クラブのサービスをご活用下さい。詳しくは、しんきんへ

シリーズ 我が家の秘蔵写真 第八回



昭和35年頃、エプロン姿の主婦と談笑…。  
ショーケースには、なつかしいお菓子もみえます。



昭和25年頃、祝い事があるのかタイの荷分け作業に  
いそがしい店舗前。

(有)稲葉屋商店 中山公道さん所蔵)

現在の社長、公道さんは三代目。屋号の「稲葉屋」は、食料品の行商をしていた先々代の輝治郎さんが、盟和産業下の、今も残っている稲葉地籍から別家して、そこから取ったものだそうです。

今でこそ、冷凍技術で魚の保存も容易ですが、当時は、塩つけぐらいしか方法がなかったそうです。さんまの時期になると、飯田の間屋さんから、木箱に詰められたものが夜の内に運ばれ、店の前に積まれました。それを、朝の内に十本ずつ竹の皮などに包み、わらで縛って、自転車に乗せ、湯川から木戸脇のあたりまで配って歩いたそうです。留守でも戸棚へ入れて置いてきたけれど、「稲葉屋で置いていたな」と、特に文句を言う家もなかったと。公道さんの母稲江さんのお話でした。

左は、昭和三十五年頃。菓子等、ばら売り、量り売りで、お客さんと世間話しながらの商売でした。現在は、ほとんどの商品が、袋詰め、パック詰め、お客さんとの会話も少なくなってきました。

企業探訪

No18

有限会社阿智精機

ようやく寒気も緩み、一雨ごとに少しずつ暖かく、又随分と日も長く感じられるようになった3月初めの午後、お忙しいところ時間を取っていただき、熊谷社長さんにお話しを伺いました。

- 《代表者》 熊谷 定雄
- 《創業》 昭和45年10月8日
- 《資本金》 100万円
- 《従業員》 12名(男11名、女1名) 村内在住 8名
- 《主な製造品》 省力化機械、  
組立ライン用機械の加工・組立
- 《主な取引先》 住友電工(株)、松下電器産業(株) 他数社

熊谷社長さんは、当初阿智村伍和の自宅で、時計部品の加



工場社屋

工用機械を製造していたそうです。その後、今の場所へ工場を建て、仕事を始めました。

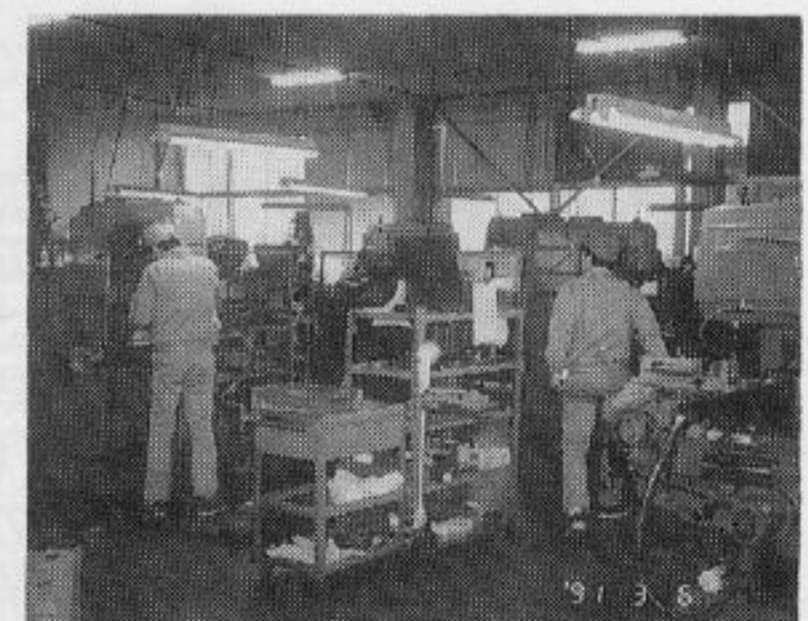
「会社の利益を産み出してくれるのは従業員」というお考えから、企業の利益は従業員に還元しようと、年4回賞与を支給しています。又、従業員が生活できる範囲の給料は支給する等、常に従業員の立場になってのお考えは、社長さん自身のサラリーマン時代の経験からきているようです。又こ

ういったことが、従業員の定着率を良くしているのでしょう。

お話をお聞きした後、工場内を案内していただきました。

大型の機械が何台も入っていましたが、機械と機械の間のスペースを充分に取ってあるせいでしょうか。たいへん広々とした印象を受けました。

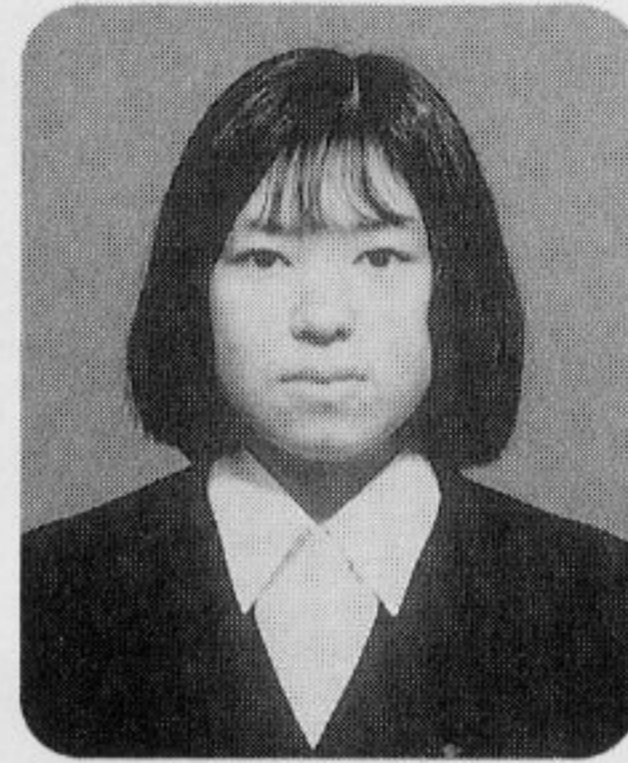
又、社長さん自身はゴルフをしないそうですが、庭には練習用ネットが張っており、従業員への心配りを感じました。



工場作業風景

# 珠算検定合格おめでとう

二月十七日(日)商工会館において、第八十七回商工会珠算検定試験を行いました。今回の受験者は一二四名、合格者は三〇名、合格率は二四・二%でした。合格者は次の皆さんです。(敬称略)



一級合格の飯嶋さん

- 一級 飯嶋彩子
- 二級 塩沢友子
- 三級 遠山恵理 高間奈央  
肥後和好 玉井淳司
- 上田久臣 園原直美
- 井原真由美
- 佐々木麻衣 木下貴子
- 四級 鈴木彩予 原田 忍  
小沢恵子 美濃部由美
- 井原みち代
- 五級 倉田 勝 桜井正哉  
熊谷佳美 園原 恵
- 六級 桐山 直 石原竜太  
下原大介 飯嶋 恵  
小松歩美 河合隆史  
高坂知子
- 七級 石原小百合 松井隆佳  
木下奈津子

次回の検定試験は、六月九日です。

## 法定労働時間が変わります

週四十時間労働制に向け、法定労働時間を段階的に短縮すること等を内容とする改正労働基準法が、昭和六十三年四月一日より施行され、更に本年四月一日からは、原則週四十四時間労働制へと移行することとなっています。

業種	規模	1~9人	10~30人	31~100人	101~300人	301人以上
製造業(1号)		46	46	46	44	44
鉱業(2号)		46	46	46	46	46
建設業(3号)		46	46	46	46	44
運輸交通業(4号)		46	46	46	46	46
貨物取扱業(5号)		46	46	44	44	44
商業(8号)		48 ※	46	46	44	44
金融広告業(9号)		44	44	44	44	44
映画・演劇業(10号)		48 ※	46	44	44	44
通信業(11号)		44	44	44	44	44
教育研究業(12号)		44	44	44	44	44
保健衛生業(13号)		48 ※	46	44	44	44
接客娯楽業(14号)		48 ※	46	46	46	44
清掃・と畜業(15号)		46	46	46	46	46
官公署(16号)		44	44	44	44	44
その他の事業(17号)		46	46	46	46	44

注1. 業種分類(1~17号)は、労働基準法第8条に掲げる分類によります。規模については、事業場を単位とします。

2.   は、猶予措置の対象事業、※ は特例措置の対象事業

## 編集後記

○武力による制圧は終わった。戦後処理の行く方が、中小企業経営にどう影響するかが気掛かりである。

○村の当初予算が、初めて三〇億円の大台に載った。前年対比伸率のトップは教育費であるが、学校建設費が、大きくウェイトを占めていることは申すまでもないが、次に商工費の伸びが目立っている。

○各企業で、人手不足が悩みとなっている。若手従業員を求めるとに当り、教育現場の意見として、「中小企業の求人活動が手薄なこと、立ち遅れ」を指摘する。個々の企業の弱さをどう補い、小さな力と小さな力を寄せ合せて、如何に時代の流れに立ち向かうかが今後の課題でもありそうだ。

会報編集委員長

園原峯正

